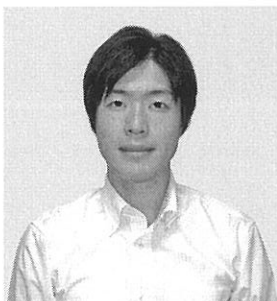


インタビュー

バイオマスアグリゲーション
代表取締役



久木 裕氏

プロフィール

大手製紙会社、コンサルティング会社を経てバイオマスアグリゲーションを設立。

(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会 理事

バイオマスエネルギーの専門機関として、持続可能な地域社会づくりの支援業務を進めている。

木質ペレットの現状と課題について

木質ペレットの市場が広がっていないのはなぜか。久木 大きな理由が二つある。

一つはペレット製造側の問題だろう。現在日本では小さな規模のペレット工場が地方に数多く点在している。一つのプラントで

作る規模が年間数百万、1000トレベルの生産量でこれまた手作業で袋に詰めて……はやはり欧米の施設と比べると比較にならない。また原料も余っている製材材などではなく、用材のバルク車があり、またホッパーや地下サイクも常備されている。輸送車とホースで

直結できる。一方では本ではフレコンに入れて手作業で運び……など、輸送関連のシステムが異なる。当然大きなコストも大きい。大きな差がある。

もう一つは流通面での問題だ。ドイツなどでは、ペレット輸送専用トラックがあり、輸送関連のシステムが異なる。当然大きなコストも大きい。大きな差がある。

6月に竣工した遠野興産のペレット工場は、製造だけで30円前後、輸送だけで10円/キ程度のコストを掛けていたりする。そのなればコストだけで40円/キ以上かかる。インフラが整っている施設・環境とは比較にならないくらいコストが高くなってしまふ。

地産地消のペレット工場の意義もあるだろう。またペレットを利用した欧州型の熱電併給施設も稼働し始めている。

小規模なペレット工場では、製造だけで30円前後、輸送だけで10円/キ程度のコストを掛けていたりする。そのなればコストだけで40円/キ以上かかる。インフラが整っている施設・環境とは比較にならないくらいコストが高くなってしまふ。

またペレットを利用した欧州型の熱電併給施設も稼働し始めている。

6月に竣工した遠野興産のペレット工場は、製造だけで30円前後、輸送だけで10円/キ程度のコストを掛けていたりする。そのなればコストだけで40円/キ以上かかる。インフラが整っている施設・環境とは比較にならないくらいコストが高くなってしまふ。

またペレットを利用した欧州型の熱電併給施設も稼働し始めている。

小規模なペレット工場では、製造だけで30円前後、輸送だけで10円/キ程度のコストを掛けていたりする。そのなればコストだけで40円/キ以上かかる。インフラが整っている施設・環境とは比較にならないくらいコストが高くなってしまふ。

またペレットを利用した欧州型の熱電併給施設も稼働し始めている。

小規模なペレット工場では、製造だけで30円前後、輸送だけで10円/キ程度のコストを掛けていたりする。そのなればコストだけで40円/キ以上かかる。インフラが整っている施設・環境とは比較にならないくらいコストが高くなってしまふ。

またペレットを利用した欧州型の熱電併給施設も稼働し始めている。